

⑪ 一般国道257号 川上Ⅱ期バイパス工区 道路改良事業

受賞機関 岐阜県 下呂土木事務所

キーワード 地域の活性化、イベントの開催、環境保全対策

全建賞審査委員会の評価ポイント

トンネル建設に先立つ環境調査で確認された猛禽類の生息環境に配慮し、学識経験者へのヒアリングを実施しながら貴重生物への影響を最小限に抑えつつ工事を進めるとともに、トンネル掘削に伴う建設発生土を近隣の同路線の盛土区間で有効利用し、複数工区の効率的な事業促進に寄与した点が評価された。

1. はじめに

一般国道257号 川上Ⅱ期バイパス工区は、延長1,215mの「川上岳見トンネル」を含む、延長1,800mのバイパス事業であり、地域の物流・観光交流の促進及び安全で安心な道路の整備を目的として事業を進め、令和6年11月16日に開通した。

2. 事業の概要

一般国道257号は、静岡県浜松市中央区を起点とし岐阜県高山市荘川町に至る延長約208kmの幹線道路で、骨格幹線補完道路として位置付けられているほか、第2次緊急輸送道路にも指定されているなど、地域の要となる重要路線である。しかし、一部区間は改良されておらず、線形不良や幅員狭小により、車両のすれ違いが困難であり、一部の大型車は通行不能となっていた。

こうした状況の解消を目指すとともに、地元からの強い要望も受け、平成20年度から事業に着手し、令和7年度に完成した。



開通式（令和6年11月16日）

3. 事業の成果

本事業により、通行の支障となっていた落石危険箇所15箇所（要対策2箇所、カルテ13箇所）を回避することができ、大型車通行不能（高さ制限3.6m、長さ制限9.0m）も解消され、異常気象に伴う通行止めがたびたび発生する一般国道41号及び東海北陸自動車道の代替路として、災害時に有効に機能する道路ネットワーク確保につながった。

施工においては、川上岳見トンネルの掘削で発生した建設発生土を、約3km南側にある一般国道257号黒石1・3工区の路体盛土材として有効利用した。これにより、川上Ⅱ期バイパス工区の開通日に合わせて、黒石3工区（延長860m）も開通することができた。



完成した黒石3工区

4. おわりに

下呂市をはじめ隣接する高山市及び郡上市には、多くの観光・レジャー施設や温泉地が立地しており、このたびの開通により地域間のアクセスが向上し、観光振興や地域の更なる活性化につながることが期待される。一方で、災害時には、円滑な救助活動や物資輸送を支えるルートとして機能することが期待される。

賛助会員 大日本土木(株)、(株)市川工務店、サンコーコンサルタント(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)ユニオン、(株)ニュージェック、日本工営(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)エイト日本技術開発、セントラルコンサルタント(株)